



No. 20

会幹 長事 長 井 典 夫  
 クラブ会報委員 白 石 隆 夫  
 第1週 齋 藤 達 雄  
 例会 2017年3月3日(金)  
 事務所 毎週金曜日 12時30分  
 会場 ホワイトイン高崎  
 所 高崎市本町144-1  
 光明第7ビル202号室  
 TEL 027-328-3371  
 FAX 027-328-3372  
 http://www.takasakisympphony-rc.org  
 E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員 浅見 洋子  
 本日のプログラム 会長の日 長井 典夫会長  
 ローターソング 君が代、奉仕の理想

第961回例会報告

第3週 2月17日(金)

ゲスト卓話  
 「世界平和に貢献する人を育てるロータリー米山奨学会」  
 R I 元理事・(公財)ロータリー米山記念奨学会  
 名誉理事長 板橋 敏雄様

御来訪者 7名  
 R I 元理事・(社)ロータリーの友事務所相談役  
 (公財)ロータリー米山記念奨学会名誉理事長  
 (公財)ロータリー日本財団評議委員  
 (株)板通 名誉会長

板橋 敏雄様 (足利東RC)  
 R I 元理事 重田 政信様 (高崎北RC)  
 R I 第2840地区ガバナーエレクト  
 田中 久夫様 (高崎RC)  
 R I 第2840地区第3分区ガバナー補佐  
 市川 豊行様 (高崎RC)  
 (株)板通 専務 板橋 一博様 (太田RC)  
 ミサワホーム(株) 営業本部北関東支社群馬支店  
 支店長 勝野 琢也様  
 上毛新聞社 高崎支社長 飯島 哲也様



出席報告

会 員 数	42名
出席計算人数	42名
本日出席者	30名
本日出席率	71.43%
先々週出席率	71.43%

表彰(板橋名誉理事長より授与)

・第13回米山功労クラブ 高崎シンフォニーRC



- ・米山功労者 第7回 三浦 敦朗君
- 第3回 長井 典夫君
- 第2回 小野垣義男君
- 第2回 浦野 幸男君
- 第1回 西園 勲君



幹事報告

- ・例会変更
- ・ハイライトよねやま
- ・神戸東灘RC週報

委員会報告

- ・ニコニコBOX
- 足利東RC 板橋 敏雄様 (本日卓話を依頼され光栄に存じます)
- 高崎北RC 重田 政信様 (板橋敏雄RI元理事を高崎の地にお迎えして)
- 高崎RC 田中 久夫様 (メークします)
- 高崎RC 市川 豊行様 (宜しくお願い致します)
- 太田RC 板橋 一博様 (本日はよろしくお願ひします)
- 長井 典夫君 (RI元理事板橋さんをお迎えして)
- 白石 隆夫君 ( " )



豊泉 君代君 (R I 元理事板橋さんをお迎えして)  
 宮田 正枝君 ( )  
 泉 省平君 ( )  
 柴崎 晟君 ( )  
 小野垣義男君 ( )  
 橋爪 健君 ( )  
 西野 宏君 ( )  
 八木建司朗君 ( )  
 高橋 正光君 (2月御誕生日日祝として)  
 佐藤 昭一君 (12月結婚記念日祝として)

・ロータリー財団BOX

吉本 賢二君 白石 隆夫君 高橋 栄江君  
 折田 慶太君 三浦 敦朗君 柴崎 晟君  
 長井 典夫君

・米山奨学会BOX

小林 彌君 吉本 賢二君 齋藤 達雄君  
 横山 正男君 浦野 幸男君 白石 隆夫君  
 高橋 栄江君 橋爪 健君 阿久澤 公君  
 宮田 正枝君 西園 勲君 折田 慶太君  
 君島 准逸君 三浦 敦朗君 宮野 孝之君  
 柴崎 晟君 手島 均君 泉 省平君  
 小野垣義男君 長井 典夫君 豊泉 君代君  
 井汲 憲治君 八木建司朗君 島崎 真澄君  
 反町 光輝君

次回例会予告

3月10日(金)

職場訪問 「高崎アリーナ」  
 昼食会場 サンフラワー  
 昼食時間 12:45までにお越しください。  
 (御食事後、高崎アリーナ地下駐車場へ各自ご移動願います。)

職場訪問 高崎アリーナ(下和田町4-1-18)

集合時間 13:30

集合場所 2階 エントランスホール



ロータリー米山記念奨学会  
 板橋名誉理事長を  
 お迎えして

金子秀隆

板橋名誉理事長をお迎えして「世界平和に貢献する人を育てるロータリー米山奨学会」というお話を頂きました。板橋名誉理事長は、1963年足利RCにご尊父の代わりに入会されました。あまり真面目ではなかった会員に、転機が訪れます。RI355(栃木・群馬・茨城・新潟)地区時代の地区大会(新潟)でのことです。初老の紳士が「ようこそいらっしゃいました」と若き日の板橋さんを丁重に迎えたそうです。その方が新潟銀行の頭取だったと知り、その後のロータリー人生が変わったそうです。1973-74年度足利東RC会長、地区の役職等を経て、56歳で1987-88年度RI255(栃木茨城)地区のガバナー(当時最年少)となります。2001-04年度RI理事に、国内外のロータリーの役職や国際大会等のSAAも歴任され2007年財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長に就かれます。これを「ロータリーから頂いた最大の宝物」と仰いました。

米山記念奨学会は1952(昭和二七)東京RCが日本ロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の遺徳を記念し奨学事業を発案、その後全国のRC共同事業に発展継承され「月に煙草1箱を節約して」を合言葉に寄付を呼びかけ、1967年、財団法人化され50周年を迎えます。その使命は、将来日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。しかしRIの正規な認証には至りませんでした。2001年、ビチャイ・ラタクルRI会長エレクトが来日され板橋RI理事(当時)が、米山梅吉記念館にご案内したそうです。ビチャイRI会長エレクトは、庭の石碑をご覧になり「なぜロータリーマークが刻まれていないのだ？」平和貢献をしている米山奨学会が認められないのはおかしいと仰ったそうです。板橋RI理事はRIに働きかけ、2004年11月のRI理事会で他区合同奉仕活動として承認されました。

米山奨学事業の特色は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生OBである米山学友の多くは金銭面の援助以上に世話クラブとカウンセラーが親代わりとなってくれたことに感謝したそうです。米山学友は留学後に学友会を作りました。初めに台湾が、これに韓国が続きました。この両学友会では日本人留学生に奨学金を支援し、カウンセラーを学友が勤めているそうです。

板橋理事長時代には中国・タイ・ネパール・モンゴルにも米山学友会ができました。中国学友会設立総会で初代会長姫軍さんは「学友会の設立は私たちの長い間の夢でした。この夢を形にしたのは、学友に共通した感謝の気持ちです。滴る水の様に受けた恩は、湧き上がる水の様にお返しする道程にあります。日本で学び、日本人の心を知っているのは我々において他に無いという思いから、先ずこの思いを中国の次世代に伝え、今後の日本と中国の友好関係を進展させるのが我々の目的です」と述べられました。また米山奨学会は2012年に公益財団法人となり税制上の優遇措置を安定的に受けられるようにもなりました。

その後の米山奨学会では海外の学友会がスリランカ・マレーシア・ミャンマー(今月予定)が増え国内に33・海外9つとなります。昨年のソウル国際大会では初めて分科会を開催し世界各国から多くのロータリアン・米山学友が来場し「よねやまが世界に羽ばたいた日」になったそうです。こういった学友の集いでは公用語は日本語で、「何クラブのお世話で何大学を卒業した誰それです」と挨拶するそうです。米山奨学事業への寄付は、片道切符ではなく世話クラブやカウンセラーになって奨学生と相互理解を深めることで、大きな感動という帰り切符があると仰いました。

追記

板橋名誉理事長ご来訪に際し、高崎北RC重田政信2005-07年度RI理事、高崎RC田中久夫ガバナーエレクト(地区米山元委員長)市川豊行ガバナー補佐、大田RC板橋一博様が来訪されました。米山奨学BOXには出席会員30名に対し25名の寄付が12万5千円なされました。1回の例会では過去最高寄付額だと思います。また、米山功労クラブ及び5名の米山功労者の表彰も行われました。例会終了後有志による懇談会が別室にてありました。